

IBM LPR Remote Printing Client for Windows 95 導入手順書

(対象OS:MicrosoftWindows95/98/Me)

本ソフトウェア(IBM LPR Remote Printing Client for Windows 95 以下 IBMLPRと記します。)はMicrosoftWindows95/98/MeではOSの機能としてサポートされていないTCP/IPプロトコルのLPRを使用したネットワーク共有プリンターへの印刷を実現するものです。

対象オペレーティング・システム

MicrosoftWindows95/98/Me

対象プロトコル

TCP/IP

対象プリンター

IBM 558Xプリンター + LANカードオプション

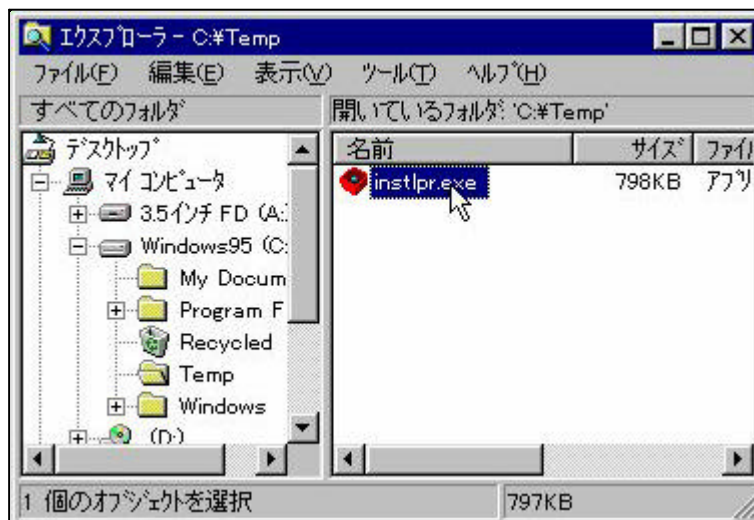
IBM NetworkPrinter12/17/24 + ネットワークカード・オプション

IBM InfoPrint20/40/21 + ネットワークカード・オプション

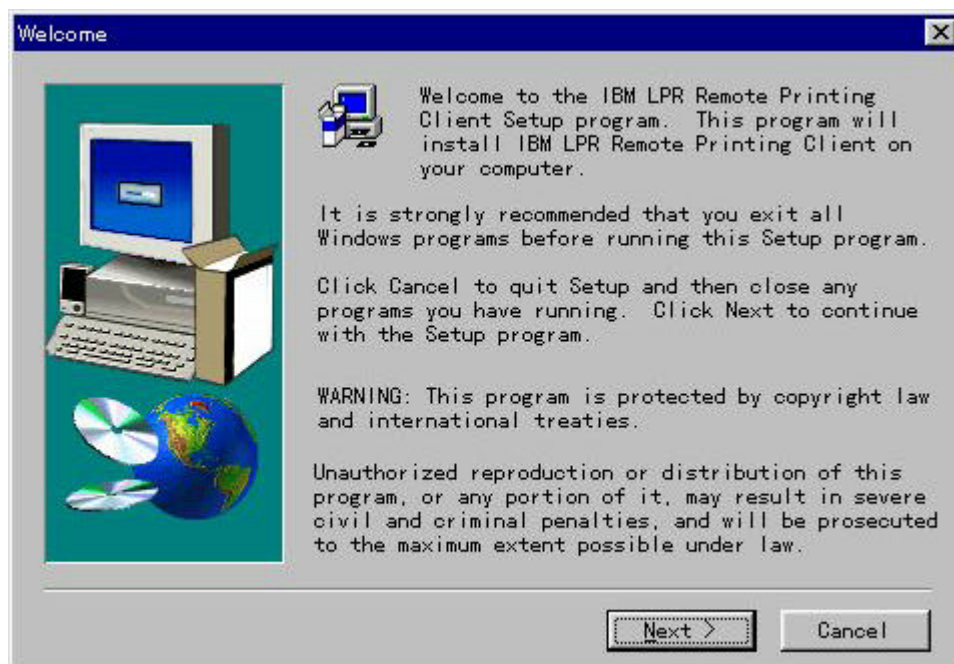
IBM 557Xプリンター + APTi社製 NS プリントサーバー

導入手順:

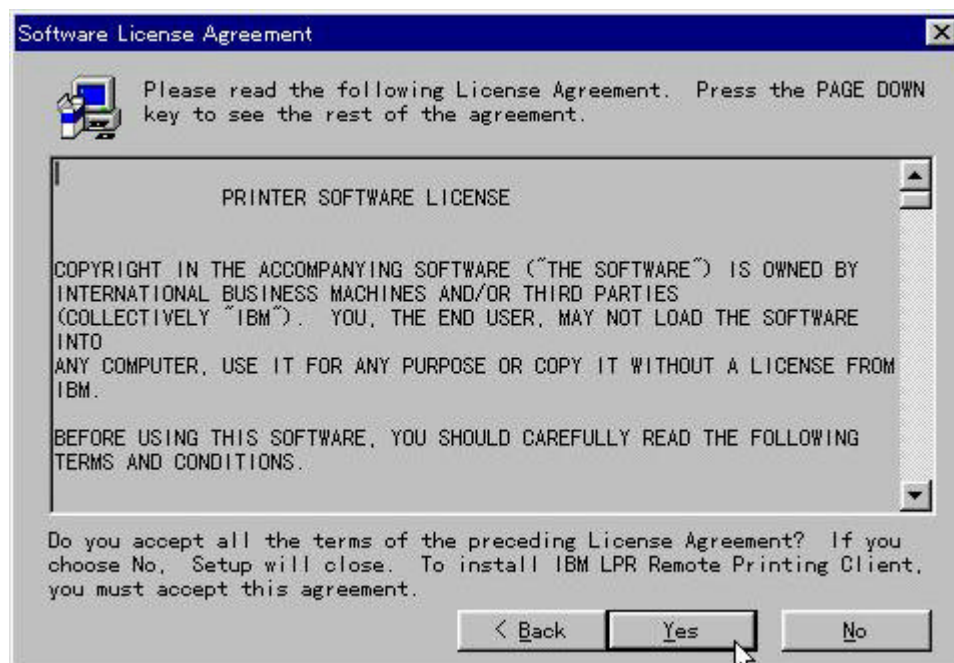
- (1). 事前にお使いになるプリンター・ドライバーを導入してください。その際は「ローカルプリンタ」としてポートは「LPT1:」で導入しておいてください。
- (2). IBMLPRをダウンロードしてください。適当なディレクトリーに(例:C:¥Temp)保存します。
- (3). 保存したプログラム(instlpr.exe)を実行してください。



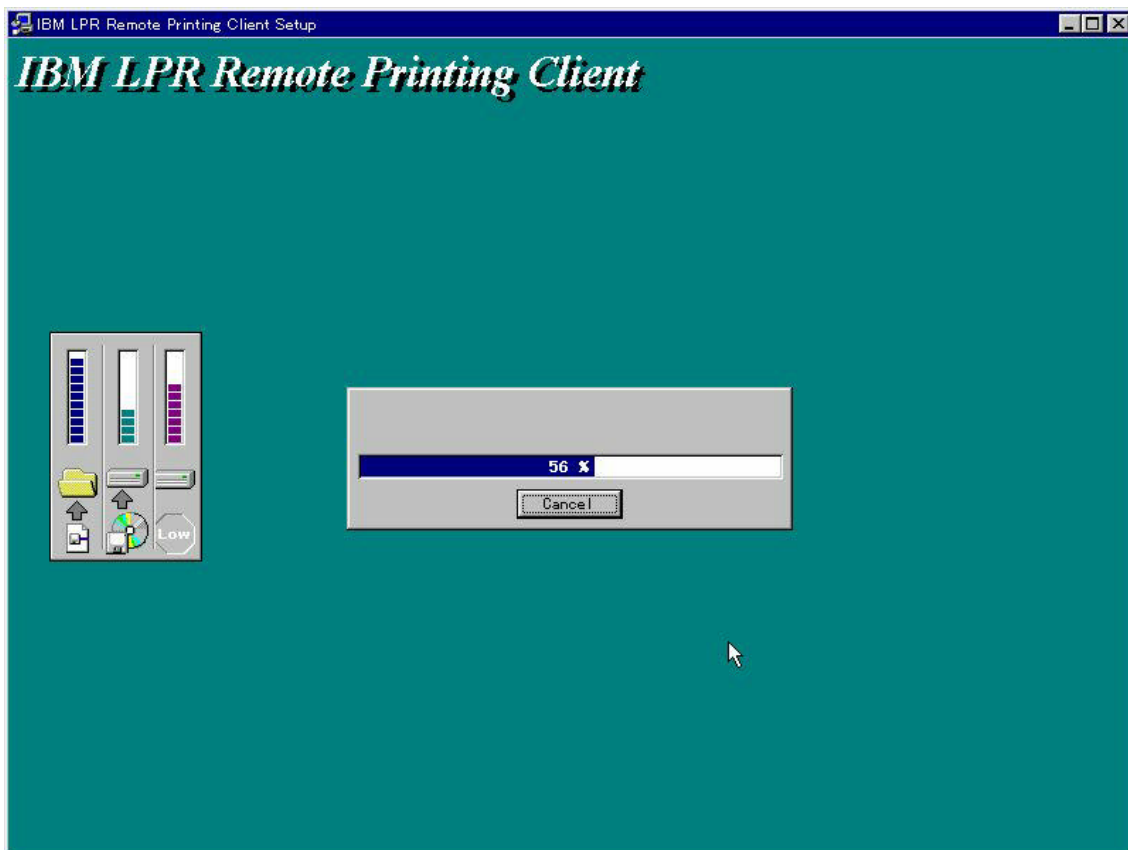
(4). [Next]ボタンを押します。



(5). プログラム使用同意書をお読みいただき、条件に同意される場合は[Yes]ボタンを押してください。同意されない場合は残念ながらIBMLPRをご利用いただけません。[No]ボタンを押してインストール・プログラムを終了してください。



(6).自動的に導入が進みます。



(7). [Finshi]ボタンを押してください。PCが自動的に再起動します。(再起動なしでお使いいただける場合もあります。)



(8).これでIBMLPRの導入は完了しました。

設定手順:

- (1). スタートメニューより「設定(S)」 「プリンタ(P)」を選択し、プリンター・フォルダーを表示してください。

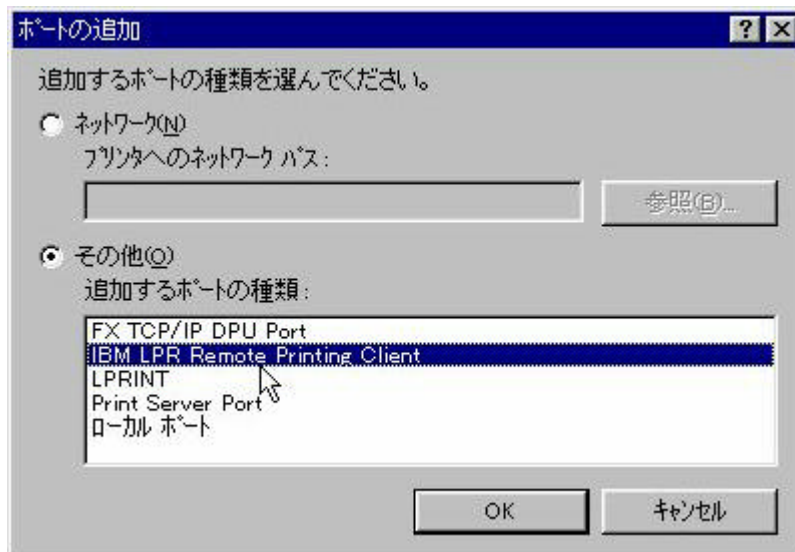


- (2). 設定したいプリンターのプロパティを表示し、「詳細」のタブを選択します。

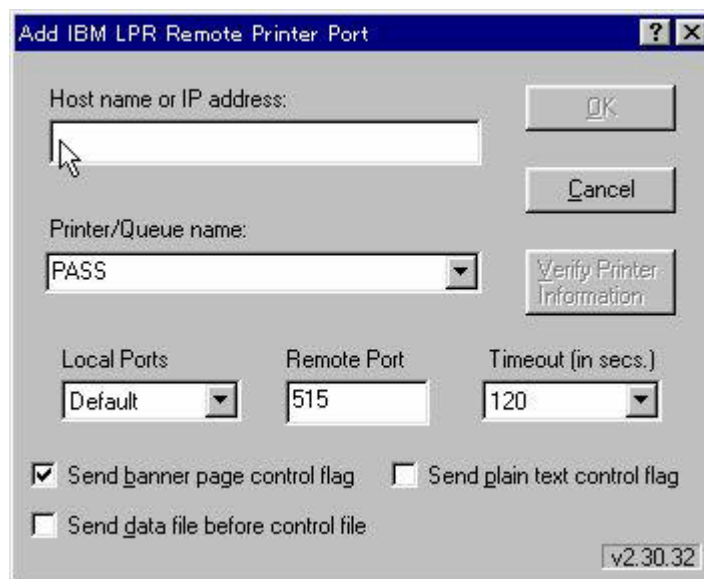


- (3). [ポートの追加(T)]ボタンを押します。

- (4). 「ポートの追加」画面で「その他」をクリックし、「IBM LPR Remote Printing Client」を選択して[OK]ボタンを押します。

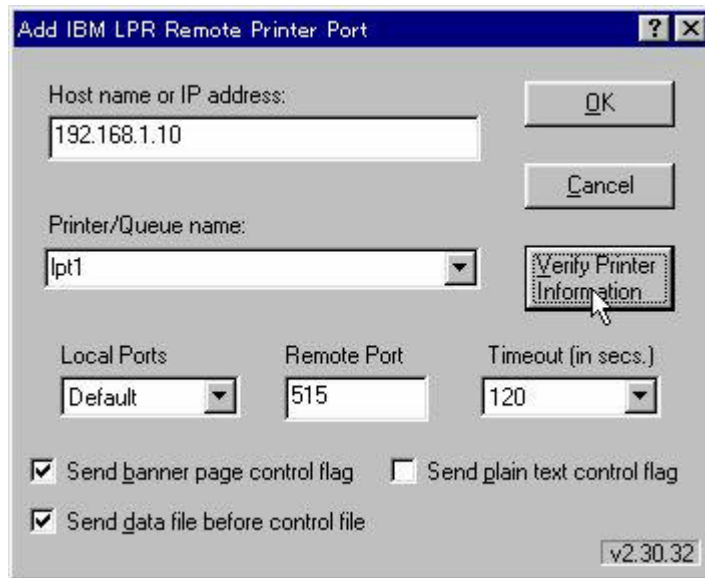


- (5). 「Add IBM LPR Printer Port」画面が表示されますので、「Host Name or IP Address:」の項目にプリンター・サーバーに割り当てられたIPアドレスまたはホスト名を入力してください。



- (6). 「Printer/Queue Name:」にプリンター・サーバーが使用するキュー名を入力します。
- 558X用のLANカードオプションIIの場合「pr1」（半角小文字）
 - 558X用のLANカードオプションIIIの場合「lpt1」（半角小文字）
 - NP&IPシリーズのネットワークカードオプションの場合「PASS」（半角大文字）
 - NS プリントサーバーの場合「pr1」（半角小文字）

- (7). [Verify Printer Information]ボタンを押してください。



(8). 下記メッセージが表示されたら接続成功です。[OK]ボタンを押してください。
(10)に進みます。

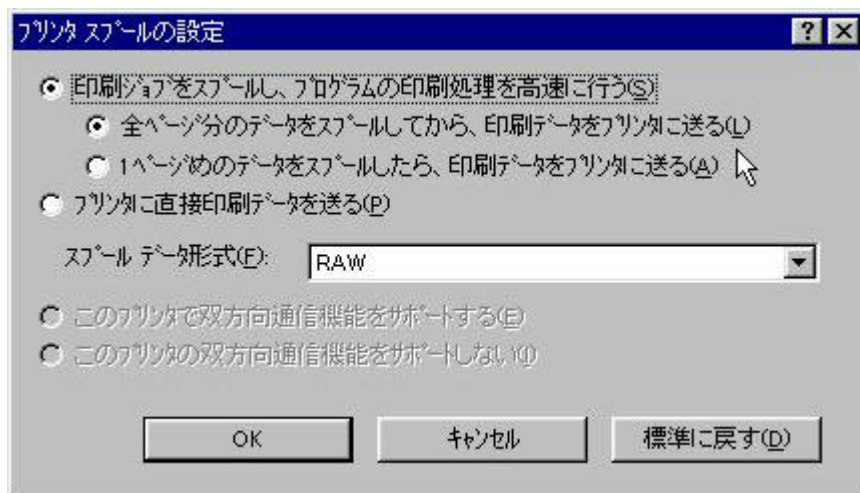


(9). 下記メッセージが表示されて場合、プリンターのIPアドレス/ホスト名、もしくはキュー名が間違っている可能性があります。また、プリンターがネットワーク接続が行えていない場合も考えられます。ご確認ください。



(10). プリンターのプロパティ「詳細」タブの画面に戻りますので、[スプールの設定(L)]ボタンを押してください。

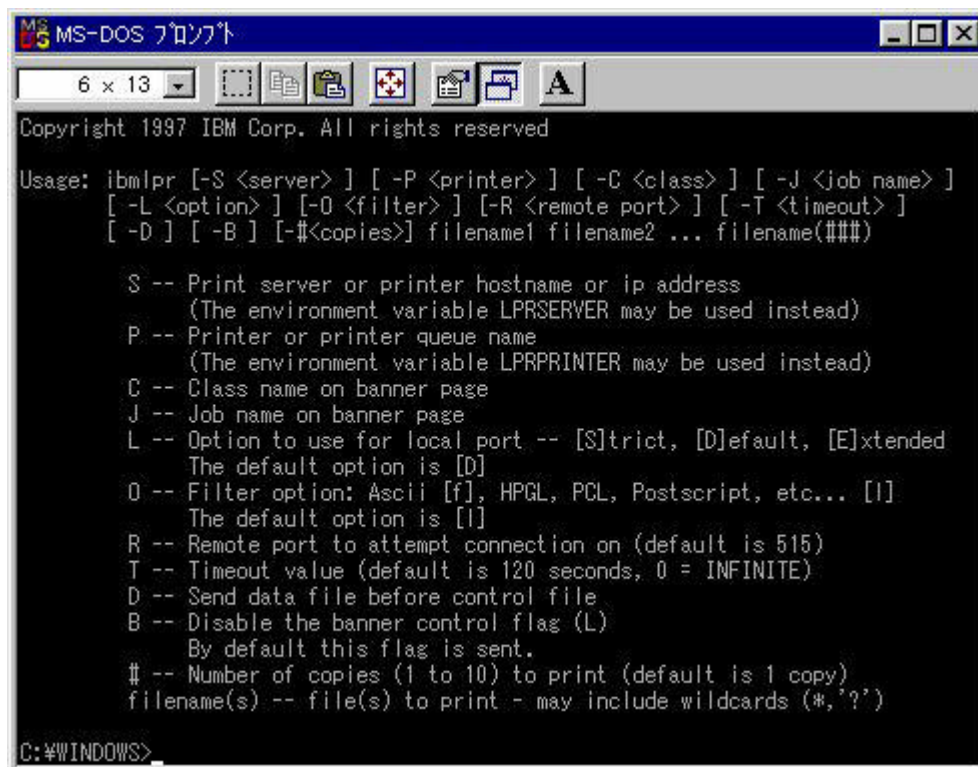
- (11). 「プリンタスプールの設定」画面で「印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う(S)」にチェックされていることを確認し、「全ページをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る(L)」にチェックしてください。また、「スプールデータ形式(F)」を「RAW」に変更してください。



- (12). [OK]ボタンを押してプリンターのプロパティ「詳細」タブの画面に戻りますので、再び[OK]ボタンを押してプロパティ画面を終了させてください。

以上でLPRによるネットワーク印刷が可能になりました。

また、コマンドプロンプト内でもLPRコマンド互換の「IBMLPR」コマンドが使用できるようになります。各引数は下記をご参照ください。



```
MS-DOS プロンプト
6 x 13
Copyright 1997 IBM Corp. All rights reserved

Usage: ibmlpr [-S <server>] [-P <printer>] [-C <class>] [-J <job name>]
[-L <option>] [-O <filter>] [-R <remote port>] [-T <timeout>]
[-D] [-B] [-#<copies>] filename1 filename2 ... filename(###)

S -- Print server or printer hostname or ip address
    (The environment variable LPRSERVER may be used instead)
P -- Printer or printer queue name
    (The environment variable LPRPRINTER may be used instead)
C -- Class name on banner page
J -- Job name on banner page
L -- Option to use for local port -- [S]trict, [D]efault, [E]xtended
    The default option is [D]
O -- Filter option: Ascii [f], HPGL, PCL, Postscript, etc... [l]
    The default option is [l]
R -- Remote port to attempt connection on (default is 515)
T -- Timeout value (default is 120 seconds, 0 = INFINITE)
D -- Send data file before control file
B -- Disable the banner control flag (L)
    By default this flag is sent.
# -- Number of copies (1 to 10) to print (default is 1 copy)
filename(s) -- file(s) to print - may include wildcards (*,?)

C:\WINDOWS>
```